

～目指す学校～ 生徒が通いたい学校 保護者が通わせたい学校 地域が応援したい学校

一目指す生徒像—どんな状況でもたくましく生き抜く生徒

一指導方針—

全ては生徒の幸せの為に

将来に向けよりよく社会生活を送るための知識を育む

＜困難な社会を生き抜く生徒の育成＞

凡事徹底「当り前のことが当り前にできる」

生徒の育成（社会の状況に応じた凡事）

（学校生活・社会生活の凡事を明確に示し、生徒が身につけられるように、全教職員で指導の徹底を図る）

【1】

◎3つの間を大切に「時間・空間・仲間」

・授業時間、休み時間、様々な活動の時間・友と共に学び、考え、話し合う空間・共に悩み、支え合う仲間

◎生活規律の徹底（共通理解・共通実践を基本）

・社会に必要な生活規律の徹底指導（3年間で身につけさせる）
（あいさつ・礼儀・マナー）家庭・地域と共に
・問題（課題）を見落とさず、全教職員で組織的に早期発見・早期対応し課題の解決に努める。

◎学級集団力の向上 学校生活の基本は学級から

○生徒の居場所づくり（生徒が安心して自分を伸ばせる場所、クラス全員で目標に向かい取り組める風土）hyper-QU活用

○支えあい・学びあい・高めあえる学級集団づくり

・話し合い・学びあい活動の実践（4～5人班）帰属意識

○「不登校対策」 ○特別支援教育の充実（特別支援コーディネーター・不登校支援コーディネーター・特別支援教室専門員・SC・SSWとの連携）

・エンカレッジルーム、サポート学習室の有効活用
・「学校生活アンケート」毎月実施

＜三者・二者面談の定期的実施。1年生全員のSC個別面接＞

教職員で共通理解・個に応じた適切な指導

《 組織的な学校運営 》

☆主幹・主任（学年・分掌）を中心とした組織

☆信頼される学校づくり

- ・教職員の輪（和）
- ・地域との輪（和）
- ・家庭との輪（和）

＜生徒への基本姿勢＞

伸ばす

関わる・褒める・鍛える

～生徒の教育を担うのは教員である～

★教職員の資質向上

＜意図的・計画的に人材育成を図る＞

【2】

◎心の教育の充実

・人権教育・道徳授業の充実・情報モラル教育の徹底
・ボランティア活動の充実（地域の方々との関わり）

○清掃・管理がいきとどいいた、きれいな学校（用務主事・事務主事・美化委員会・生活指導部）

○充実した給食

（栄養士・委託業者・給食委員会・生活指導部）

《学力・体力の向上と、自ら進んで学ぶ生徒の育成》

☆持続可能な社会の創り手を育む教育の実践（ESD）

- ・授業改善（主体的・対話的な学習過程の実践）
- ・ICTの活用（ツールとしてタブレットの有効活用）
- ・学びに火をつける（発問の工夫・授業展開）

※授業が変われば生徒が変わる

◎学力の向上（都立高校に全員合格できる学力の育成）

- ・新学習指導要領への対応した授業と評価・評定
- ・「全国・区学力調査」の有効活用
- ・読書科の推進

（学校図書館の充実・各階に立読みコーナーの設置）

- ・近隣小学校との連携（生活面・学習面）
- ・放課後補習学習、家庭学習の充実
- ・生徒による授業評価の実施（1・2学期末）

◎体力の向上（体を動かす喜びを体験させる）

- ・スポーツテストの全国平均以上を目指す。
- ※保健体育授業・運動部活動により体力の向上を目指す。

◎学校行事の充実（生徒が主体的に参加する形態に）

- ・体育祭、合唱コンクール、宿泊行事等の活動で、達成感・帰属意識を体得させ、感動ある行事により「心」を育てる。
- スローガンを掲げ、目標をもって取り組ませる。

◎地域に開かれた学校行事の充実と地域行事への積極的参加

- ◎部活動の充実（全教員顧問・複数顧問制）
- ・外部顧問・地域指導者の積極的な導入

◎教職員の働き方改革（教職員同士の助け合い）

- ・スクールサポートスタッフ・部活動外部指導員
- SC・SSW・関係機関との連携